

デイリージーザスニュース #022

イエスの宣教準備の30年

神は息子をエジプトから導き、成長へと導く

MT 2.19-23 (対訳: LK 2.39-40)

=====

19 ヘロデが死んだ後、主の使いがエジプトにいるヨセフに夢で現れ、20 こう言いました。「立って、幼子とその母親を連れて、イスラエルの地まで行きなさい。幼子の命を狙っていた者たちは皆死んでしまったのです。」

21 そこでヨセフは立ち上がり、幼子とその母を連れてイスラエルの地に入った。22 しかし、アケラオが父ヘロデに代わってユダヤを治めていると聞いて、そこへ行くのを恐れた。

㊦ヨセフとマリアは主の律法で求められているすべてのことを行っていたので、夢のお告げを受けて、ガリラヤ地方に戻り、23 ナザレと呼ばれる自分たちの町に行って住みました。

こうして、預言者たちを通して語られた言葉が成就した。「彼は『ナザレ人』と呼ばれるであろう。」*(イザヤ 11:1)

㊦そして、その子は知恵に満ち、成長し、強くなり続け、神の恵みが常に彼の上にあった。

++++++

*注: イザヤ 11.1 の「枝」を意味するヘブライ語 (neser) は、「ナザレ人」と同じ子音を使用しています。複数の預言の節でメシアがガリラヤと関連づけられていますが、マタイが引用した正確なフレーズが記載されているテキストは 1 つもありません。マタイはおそらくヘブライ語のギリシャ語訳を使用していたのでしょう。参考テキストは、詩編 22.6-8、13、69.8、20、21、イザヤ 11.1、49.7、53.2、5、8、ダニエル 9.26 です。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルーク = L、ジョン = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**赤い斜体はイエスの言葉を示します。**

コンテキストダイジェスト

位置	エジプトとナザレ
時間	の誕生から約3年後

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

の生涯の段階	第二段階：宣教の準備の30年間
第4章	イエスの幼少期と成長
セクション #022	神は息子をエジプトから導き、成長へと導く

今日の朗読は、「ブレンド テキスト」の原則を採用した最初の DJN テキストです。つまり、この部分では、2 つの関連する福音書の節を 1 つのテキストにブレンド (調和) します。この場合、マタイ 2.19-23 とルカ 2.39-40 をブレンドしました。DJN コンテンツの約 35% は、イエスの同じ出来事または言葉に関する 2 つ、3 つ、または時には 4 つすべての福音書の記述をブレンドすることになります。

並行テキストを「ブレンド」するときには、常に福音書の 1 つを「ベース」テキストとして使用し、次に、上で説明した「上付き ID」システムを使用して、他の並行テキスト (「ベース」テキストの一部ではない) からの固有のフレーズと単語を組み込みます。これにより、読んでいる各単語がどの福音書からのものかを特定できます。私は、最も独創的な内容を持つテキストを「ベース」テキストとして選択します。このテキストをそのまま残すことには、元の福音書の「ベース」コンテンツをそのまま保存できるという利点があります。

たとえば、今日の部分では、マタイが基本テキストであり、ルカの並行記述からの追加が組み合わされています。各 DAILY JESUS NEWS の上部にある「Reading」の見出しには「基本」テキストが記載されており、「並行」テキストも括弧で示されます。

ブレンディングの目的は、並行記述間の繰り返しをなくしながら、イエスが話したすべての言葉を含めることです。これにより、すべての並行記述のすべての洞察を 1 つの合理化された読み物で受け取ることができます。これは、すべての福音書を時系列順に並べて同時に読む効果があります。すべての福音書の情報源からの洞察と情報を 1 つの記述に組み合わせると、イエスの生涯のそれぞれの出来事と言葉を最大限に理解できます。DJN のほぼすべてのブレンディング リーディングで、このアプローチの利点がわかります。

ATJ ミニストーリーの出版物「イエス・キリストの物語」は、DJN で 365 日間の連続読書に分割されています。この混合テキストは福音書の代用ではありません。また、このような「調和」を福音書の読解を除外して読むべきではありません。複合福音書は、福音書の読解を補う貴重な学

習補助です。ただし、私たちの「混合」テキストが元の福音書に取って代わることは決してありません。

DAILY JESUS NEWS を読み進めていくと、ブレンドのプロセスがとても身近なものになるでしょう。

さて、今日の本文です。この朗読では、神がヨセフにヘロデの死を告げ、イスラエルに戻るよう命じることにより、再び御子のために備えをなさったことが分かります。律法のあらゆる要求を完全に満たすためには、律法のもとでユダヤ人として育てられることが重要でした。父なる神は、イエスの最良の家庭環境として、イエスの代理母と代理父をお選びになりました。そして、イエスの育成のためにイスラエルの文化的環境をお選びになりました。幼児イエスがナザレに戻った時期と状況は、ヨセフのせいではなく、神のせいでした。

ナザレは、当時のユダヤ人の考えでは、辺鄙な町でした。神に見放された「異邦人のガリラヤ」でした。ここでイエスは、伝統的なユダヤ文化とギリシャ・ローマ世界の文化の両方を学びました。彼はヘブライ語の方言であるアラム語を第一言語として学び、話しましたが、ヘブライ語も知っていました。さらに、石工/大工としての仕事には、ギリシャ語と数学の概念、そしてラテン語も含まれていたでしょう。イエスは、パレスチナで一般的だったギリシャ語版の旧約聖書に精通していたでしょう。彼は完全にユダヤ人でしたが、すべての国の人々のための人でした。ガリラヤは、そのような人へと成長するための場所でした。

パレスチナの男性のほとんどは、ある程度は三か国語を話し、アラム語/ヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語の実用的な知識を持っていました。イエスの十字架上の警告「ユダヤ人の王」がこれら3つの言語で書かれたのには理由があります。

世界の救世主として、父が御子を文字通りアジア、ヨーロッパ、アフリカの交差点である国際的な場に置かれたことは理にかなっています。同時に、ガリラヤはほとんどのユダヤ人から軽蔑される場所であり、一日一日を食べて生きる貧しい人々でいっぱいでした。そこは、神の御子が墮落し、困窮し、飢えた人類がどのようなものであるかを学ぶのに最適な場所でした。

父が、誰もいない辺鄙な場所、つまり、神に呪われたと誰もが信じ、その後忘れ去られた場所で、30年かけて息子を準備させたというのは驚くべきことです。父の絶え間ない存在と導きによって、ナザレのような場所であっても、人類史上唯一の完璧な人生と人格が創造されたのです。

の生涯の物語は、27年という長い沈黙の準備期間に入りました。この間、イエスは地元のシナゴグの学校でモーセ五書と詩篇を暗記しました。彼は地上の父から手仕事を学び、ヨセフの死後

、家業を継ぎました。長男として、イエスは残りの家族に対する責任を負い、そのために一生懸命働きました。彼は絶え間なく祈り、父との交わりの中で生きました。

何よりも、イエスは成長し続けました。ルカがイエスの知恵、肉体、内面の強さの開花を描写するために使った動詞はすべて、継続的で止まることのない成長、つまり父なる神の恵みの結果を表しています。イエスは 30 年間の絶え間ない成長によって、世界が知る最も成熟した、完璧に発達した人間性へと準備されました。ナザレでの 1 日も無駄にはなりませんでした。王の中の王が成長するとは考えられないような場所で、イエスは完全に成長しました。

応用：

私たちのほとんどは、自分自身の精神的な「ナザレ」に住んでいます。パウロはこう書いています。

「あなたたちのうち、人間の基準で賢い者は多くなく、影響力のある者も少なく、高貴な生まれの者も多くありませんでした。しかし神は、知者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選びました。神は、この世の卑しい者、軽蔑される者、価値のない者を選んで、価値あるものを無にし、神の前で誇る者が誰もいないようにされました。」 コリント人への手紙ー 2.26B -29 (NIV)

神は、その息子を、辺鄙なナザレで、つまり人里離れた場所で、成人へと成長させることを選ばれました。神は、あなたや私にも同じことをなさいます。私たちの卑しさや無価値さこそ、神がご自身の栄光のために使うことを選ばれたものなのです。イエスは、この真理の最高の例です。

唯一大切なことは、神の意志に完全に身を委ね、神の慈悲深く力強い御手の下に謙虚になることです。神を信頼し従う人々にとって、神の恵みは他のすべてを成し遂げます。

今日は、父が御子を30年間ナザレに隠し、世界の救世主となるよう完璧に備えさせた方法について考えましょう。

明日、主により完全に仕えるために、主は今日、どのようにあなたを備えておられるのでしょうか。